

社北地区の誇り

東大寺お米送り事業



毎年地区の人達の協力で田植えが出来るように準備される友情田。社北小学校の5年生が田植えに挑戦している。手で植え、農作業の苦労を学ぶ。さらに田植えの楽しさを体験することで、地域の人達との交流を図っている。ぬかるんだ田んぼの感触が気持ち悪いと叫びながらも楽しそうな声が飛び交い、子どもたちの田植えが終わった後は地域の人達が稲の成長を見守っていく。



春に植えた苗の成長を見守り、今度は稲刈りに挑戦する。地域の人達に鎌の持ち方、稲の刈り方の手ほどきをしてもらい、交流を図る。お米を東大寺に奉納する云われや食の大切さを学んでいる。



本年度で15回目を迎えた東大寺のお米送り事業。友情田で作った米を東大寺の秋のまつりに1部奉納する。社北地区が道守壮と呼ばれ奈良東大寺の壮園として栄えた歴史を学ぶことで、地域への愛着を深めている。



まちづくり委員
山形 利昭さん

山形さんは、お米送り事業がスタートした平成14年から現在まで事業運営や維持活動に携わっている。丁寧な作業指導や自主的な草刈りなど温厚で献身的な人柄は多くの住民から慕われている。

社北公民館

住 所／福井市若杉4-308

電 話／0776-35-9111

交通機関／京福バス「社北小学校前」
バス停車